

三重県

届出事業所からの「水域への人に対する毒性重み付け排出量」が全国500位以内の市区町村と
主原因3物質（平成20年度、農薬以外）

県内 順位	市区町 村名	各市区町村での主原因3物質名と毒性重み付け届出排出量(10 ⁶ L/年)			
		全物質合計	1位物質	2位物質	3位物質
1	四日市 市	12,085,619	ヒドラジン(水加ヒドラジンを含む) 9,650,000	クロロエチレン(別名塩化ビニル) 1,700,000	マンガン及びその化合物 271,530
2	津市	277,973	ダイオキシン類 200,001	ニッケル化合物 30,110	無機シアン化合物(錯塩及びシアン 酸塩を除く) 6,608
3	鈴鹿市	25,738	ニッケル化合物 19,000	マンガン及びその化合物 4,165	フッ化水素及びその水溶性塩 1,741
4	南牟婁 郡紀宝 町	11,535	ホルムアルデヒド 11,500	ダイオキシン類 35	亜鉛の水溶性化合物 -
5	桑名市	11,305	ニッケル化合物 10,000	マンガン及びその化合物 750	ほう素及びその化合物 270
6	伊勢市	8,654	ヒドラジン(水加ヒドラジンを含む) 8,333	マンガン及びその化合物 145	ほう素及びその化合物 86
7	いなべ 市	5,362	ニッケル化合物 3,900	マンガン及びその化合物 750	ほう素及びその化合物 510